
法 適 用 企 業

全事業の概況

1 事業規模

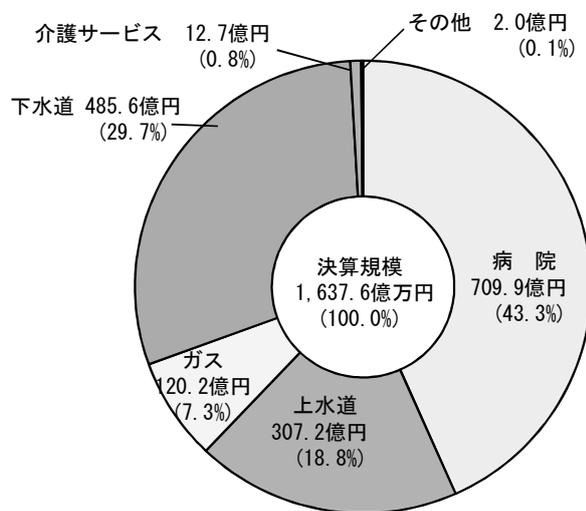
平成30年度の市町および一部事務組合が経営する法適用企業の数、前年度から3事業増加し、47事業となった。

事業別では、上水道事業19事業、下水道事業13事業、病院事業10事業、ガス事業1事業、介護サービス事業3事業、その他事業1事業となっている。

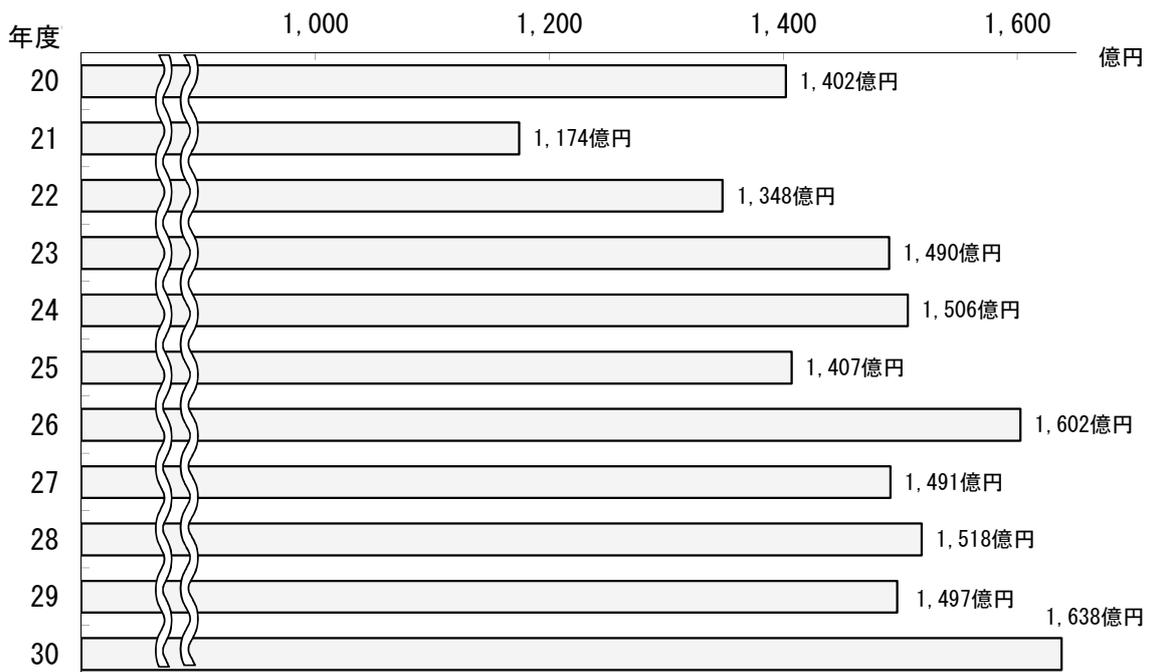
平成30年度の決算規模は1,637億62百万円で、前年度に比べ140億42百万円、9.4%の増加となっている。

第1図 決算規模でみた地方公営企業の状況

※ 決算規模＝総費用－減価償却費
＋資本的支出



第2図 決算規模の推移



2 経営状況

(1) 収益的収支

平成30年度の総収支の状況をみると、黒字事業は38事業（前年度34事業）、赤字事業は9事業（前年度10事業）となっている。赤字事業の内訳は、病院事業5事業、上水道事業が2事業、下水道事業が1事業、介護サービス事業1事業となっている。

総収益は1,552億67百万円で、前年度（1,379億17百万円）に比べ173億51百万円（12.6%）増加し、総費用は1,408億38百万円で、前年度（1,336億40百万円）に比べ71億98百万円（5.4%）増加している。この結果、純損益（純利益－純損失）は144億30百万円の黒字となり、前年度より101億53百万円増加した。また、総収支比率は110.2%と前年度より7.0ポイント上昇している。

収益的収支のうち経常収支の状況をみると、経常収益は1,426億75百万円で前年度（1,373億84百万円）に比べ52億92百万円（3.9%）増加、経常費用が1,358億63百万円で前年度（1,321億76百万円）に比べ36億87百万円（2.8%）増加しており、経常収支比率は105.0%と前年度（103.9%）より1.1ポイント上昇している。

第 1 表 収益的収支の状況

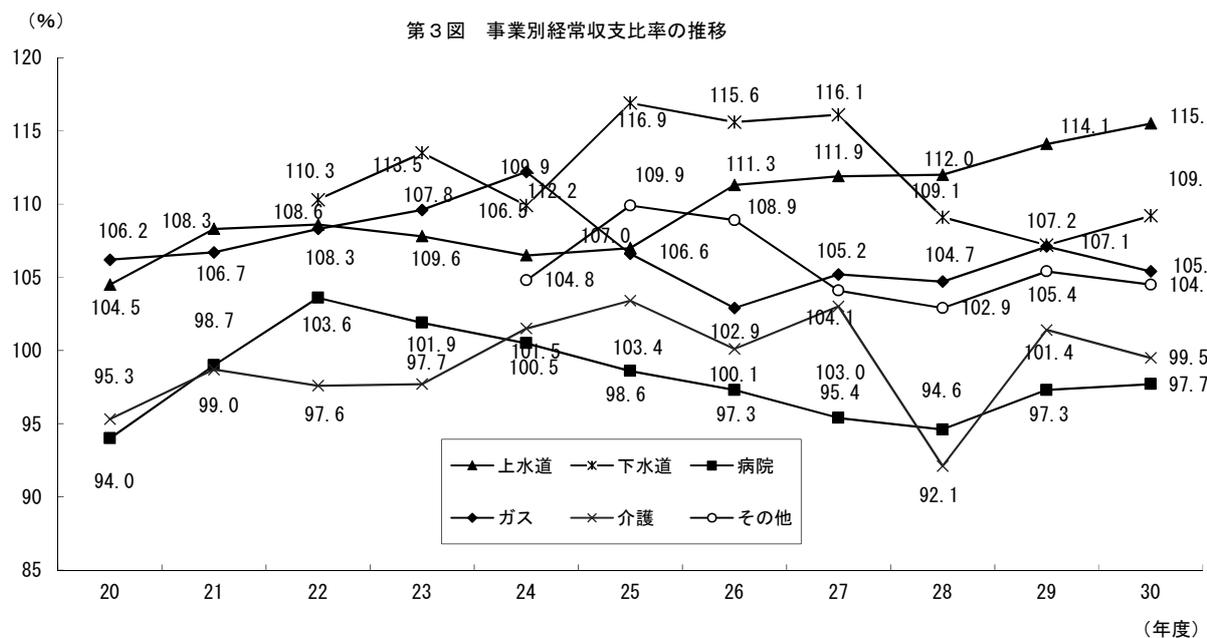
（単位：千円、%）

項目	年度	H29 (A)	H30 (B)	対前年度比較	
				(B) - (A) (C)	(C) / (A)
総 収 益		137,916,543	155,267,483	17,350,940	12.6
経 常 収 益		137,383,704	142,675,260	5,291,556	3.9
営業収益		112,423,259	113,250,844	827,585	0.7
営業収益（受託工事収益除く）		111,813,464	112,515,445	701,981	0.6
総 費 用		133,639,866	140,837,726	7,197,860	5.4
経 常 費 用		132,176,272	135,863,366	3,687,094	2.8
単年度純利益		7,339,806	17,574,344	10,234,538	139.4
純損失		3,063,129	3,144,587	81,458	2.7
単年度経常利益		7,217,561	8,672,429	1,454,868	20.2
経常損失		2,010,129	1,860,535	△ 149,594	△ 7.4
累積欠損金		29,605,388	30,729,113	1,123,725	3.8
不良債務		0	0	0	-
総収支比率		103.2	110.2	7.0	6.8
経常収支比率		103.9	105.0	1.1	1.1
営業収益 に対する 比率	単年度欠損金比率	2.7	2.8	0.1	3.7
	累積欠損金比率	26.5	27.3	0.8	3.0
	不良債務比率	-	-	-	-
事業数		44	47	3	6.8
単年度欠損金のある事業数		10	10	0	0.0
累積欠損金のある事業数		10	10	0	0.0
不良債務のある事業数		-	-	-	-
赤業 字数の 等の 割合 の割 事合	単年度欠損金のある事業	20.5	19.1	△ 1.4	△ 6.8
	累積欠損金のある事業	22.7	21.3	△ 1.4	△ 6.2
	不良債務のある事業	-	-	-	-

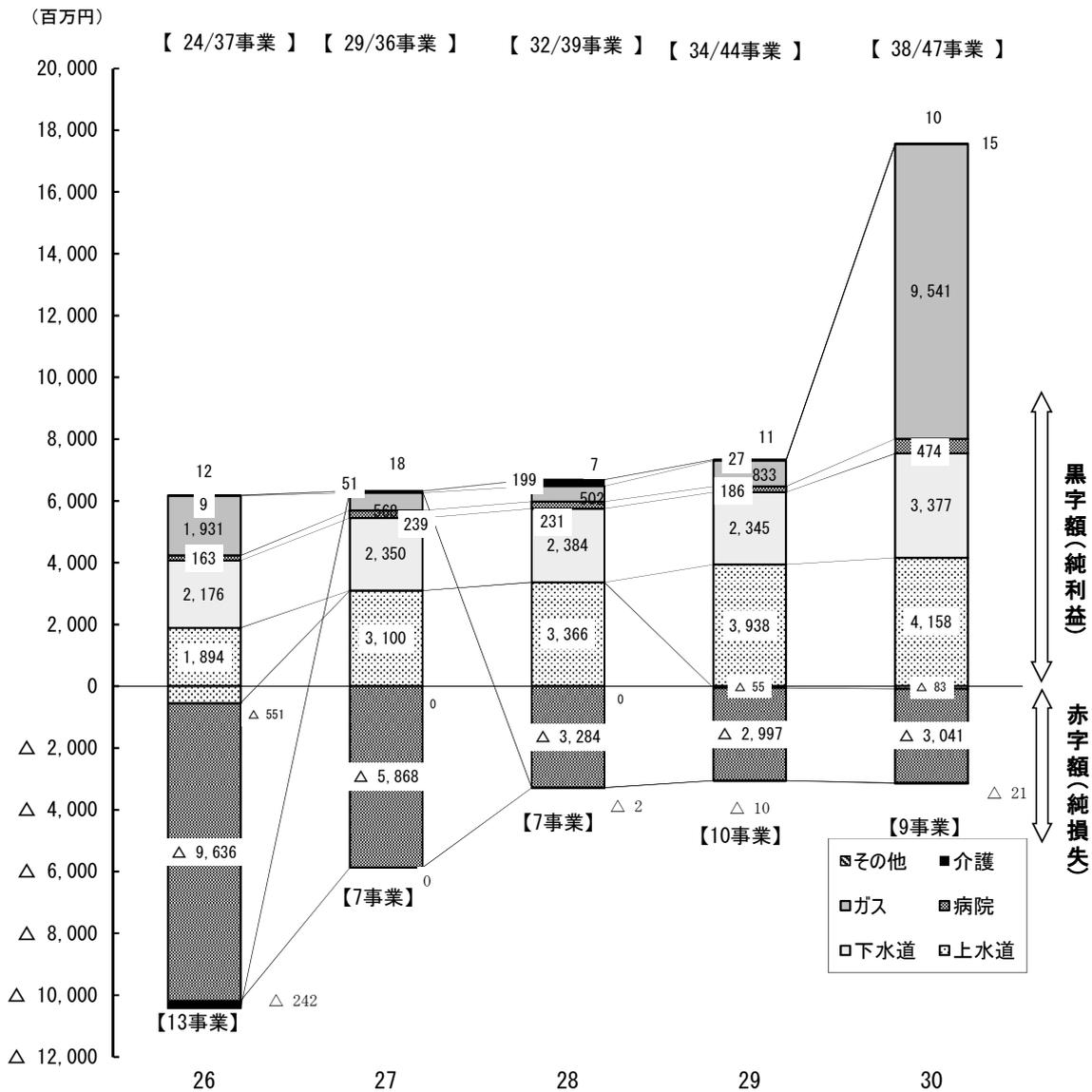
第 2 表 事業別収益的収支の状況

(単位：千円、%)

事業		全事業	上水道	下水道	病院	ガス	介護サービス	その他
項目								
総収益		155,267,483	30,870,394	40,174,720	61,553,112	21,204,340	1,253,605	211,312
経常収益		142,675,260	30,839,522	40,159,058	57,970,426	12,279,340	1,216,709	210,205
営業収益		113,250,844	25,947,368	21,779,042	52,272,510	12,104,266	1,037,043	110,615
営業収益(受託工事収益除く)		112,515,445	25,745,594	21,755,945	52,272,510	11,593,738	1,037,043	110,615
総費用		140,837,726	26,795,023	36,797,908	64,120,777	11,663,489	1,259,242	201,287
経常費用		135,863,366	26,705,696	36,763,004	59,315,716	11,655,122	1,222,598	201,230
単年度純利益		17,574,344	4,158,081	3,376,812	473,508	9,540,851	15,067	10,025
純損失		3,144,587	82,710	-	3,041,173	-	20,704	-
単年度経常利益		8,672,429	4,189,009	3,396,054	439,308	624,218	14,865	8,975
経常損失		1,860,535	55,183	-	1,784,598	-	20,754	-
累積欠損金		30,729,113	102,667	453,139	30,039,331	-	133,976	-
不良債務		-	-	-	-	-	-	-
総収支比率		110.2	115.2	109.2	96.0	181.8	99.6	105.0
経常収支比率		105.0	115.5	109.2	97.7	105.4	99.5	104.5
営業収益に対する比率	単年度欠損金比率	2.8	0.2	-	5.8	-	2.0	-
	累積欠損金比率	27.3	0.4	2.1	57.5	-	12.9	-
	不良債務比率	-	-	-	-	-	-	-
事業数	47	19	13	10	1	3	1	
単年度欠損金のある事業数	9	2	1	5	-	1	-	
累積欠損金のある事業数	10	1	3	5	-	1	-	
不良債務のある事業数	-	-	-	-	-	-	-	
赤業								
字数の割合	単年度欠損金のある事業	19.1	10.5	-	50.0	-	33.3	-
	累積欠損金のある事業	21.3	5.3	23.1	50.0	-	33.3	-
	不良債務のある事業	-	-	-	-	-	-	-
事合								



第4図 収益的収支における黒字額・赤字額の推移



(2) 資本的収支

資本的支出は596億17百万円で、前年度(495億20百万円)に比べ100億97百万円(20.4%)増加している。

その内訳は、企業債償還金(元金)が344億56百万円で全体の57.8%を占め、次いで建設改良費が248億79百万円(全体の41.7%)となっている。

資本的支出に対する財源は、企業債等の外部資金が295億80百万円(資本的支出に対する割合49.6%)、損益勘定留保資金等の内部資金が295億40百万円(同49.5%)となっている。

第 3 表 資本的収支の推移

(単位：千円、%)

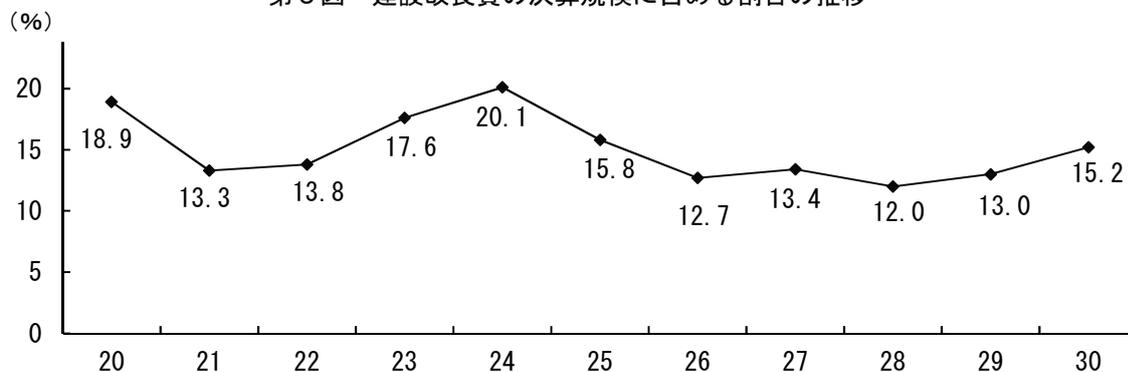
項目	年度	H29 (A)	H30 (B)	対前年度比較	
				(B) - (A) (C)	(C)/(A)
資本的支出					
建設改良費		19,485,315	24,879,447	5,394,132	27.7
企業債償還金		29,801,684	34,455,653	4,653,969	15.6
その他		233,014	281,513	48,499	20.8
計		49,520,013	59,616,613	10,096,600	20.4
上部財源					
内部資金		26,527,497	29,539,641	3,012,144	11.4
外部資金		23,482,526	29,580,428	6,097,902	26.0
企業債		11,727,800	15,685,400	3,957,600	33.7
他会計出資金等		7,436,772	8,162,444	725,672	9.8
その他		4,317,954	5,732,584	1,414,630	32.8
計		50,010,023	59,120,069	9,110,046	18.2
差引資金不足		△ 490,010	496,544	986,554	△ 201.3

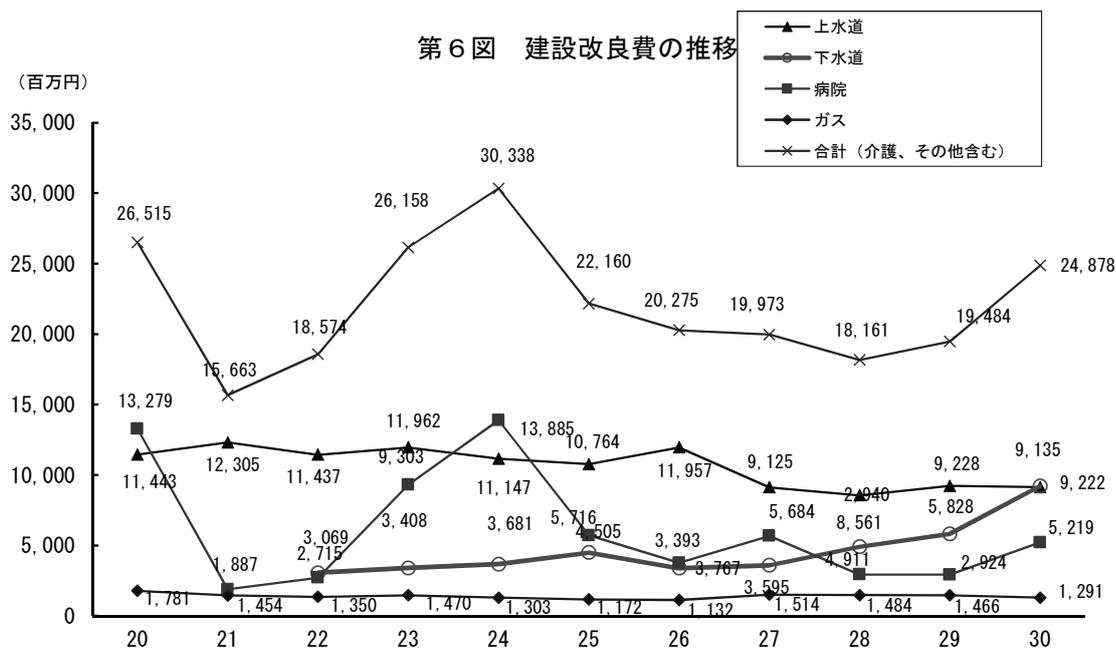
第 4 表 事業別資本的収支

(単位：千円)

項目	事業	全事業	上水道	下水道	病院	ガス	介護サービス	その他
建設改良費		24,879,447	9,135,112	9,221,565	5,219,357	1,291,406	7,844	4,163
企業債償還金		34,455,653	5,754,895	22,856,362	5,770,913	-	68,473	5,010
その他		281,513	57,780	8,423	115,310	100,000	-	-
計		59,616,613	14,947,787	32,086,350	11,105,580	1,391,406	76,317	9,173
上部財源								
内部資金		29,539,641	10,690,193	15,246,103	2,300,382	1,264,553	30,317	8,093
外部資金		29,580,428	4,180,894	16,670,308	8,555,293	126,853	46,000	1,080
企業債		15,685,400	2,694,100	8,605,300	4,386,000	-	-	-
他会計出資金等		8,162,444	705,907	4,800,752	2,609,785	-	46,000	-
その他		5,732,584	780,887	3,264,256	1,559,508	126,853	-	1,080
計		59,120,069	14,871,087	31,916,411	10,855,675	1,391,406	76,317	9,173
差引資金不足		496,544	76,700	169,939	249,905	0	0	0

第 5 図 建設改良費の決算規模に占める割合の推移





3 料金収入

平成30年度の料金収入は1,080億63百万円で、前年度（1,073億96百万円）に比べ6億67百万円（0.6%）増加している。

料金収入の大きい主な事業は、病院事業が497億50百万円（料金収入の46.0%）で最も大きく、次いで上水道事業250億85百万円（同23.2%）、下水道事業206億20百万円（同19.1%）となっており、これら3事業で88.3%を占めている。

なお、総収益に占める料金収入の割合は69.6%（前年度77.9%）となっており、総収益に占める料金収入の割合が大きな事業は、上水道事業で81.3%（同80.9%）と最も大きく、次いで介護サービス事業で81.2%（同83.2%）となっている。

第5表 事業別料金収入の推移

(単位：千円、%)

項目	年度		対前年度比較	
	H29 (A)	H30 (B)	(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	25,004,616 (80.9%)	25,085,210 (81.3%)	80,594	0.3
下水道	17,964,104 (54.4%)	20,620,122 (51.3%)	2,656,018	14.8
病院	51,303,650 (85.6%)	49,750,410 (80.8%)	△ 1,553,240	△ 3.0
ガス	12,029,338 (95.5%)	11,501,333 (54.2%)	△ 528,005	△ 4.4
介護サービス	1,007,145 (83.2%)	1,017,771 (81.2%)	10,626	1.1
その他	87,416 (41.8%)	87,947 (41.6%)	531	0.6
計	107,396,269 (77.9%)	108,062,793 (69.6%)	666,524	0.6

※ () 内の数値は、総収益に占める料金収入比率

4 企業債現在高

平成30年度末における企業債の現在高は4,078億19百万円で、前年度（3,633億48百万円）に比べ444億71百万円（12.2%）増加している。

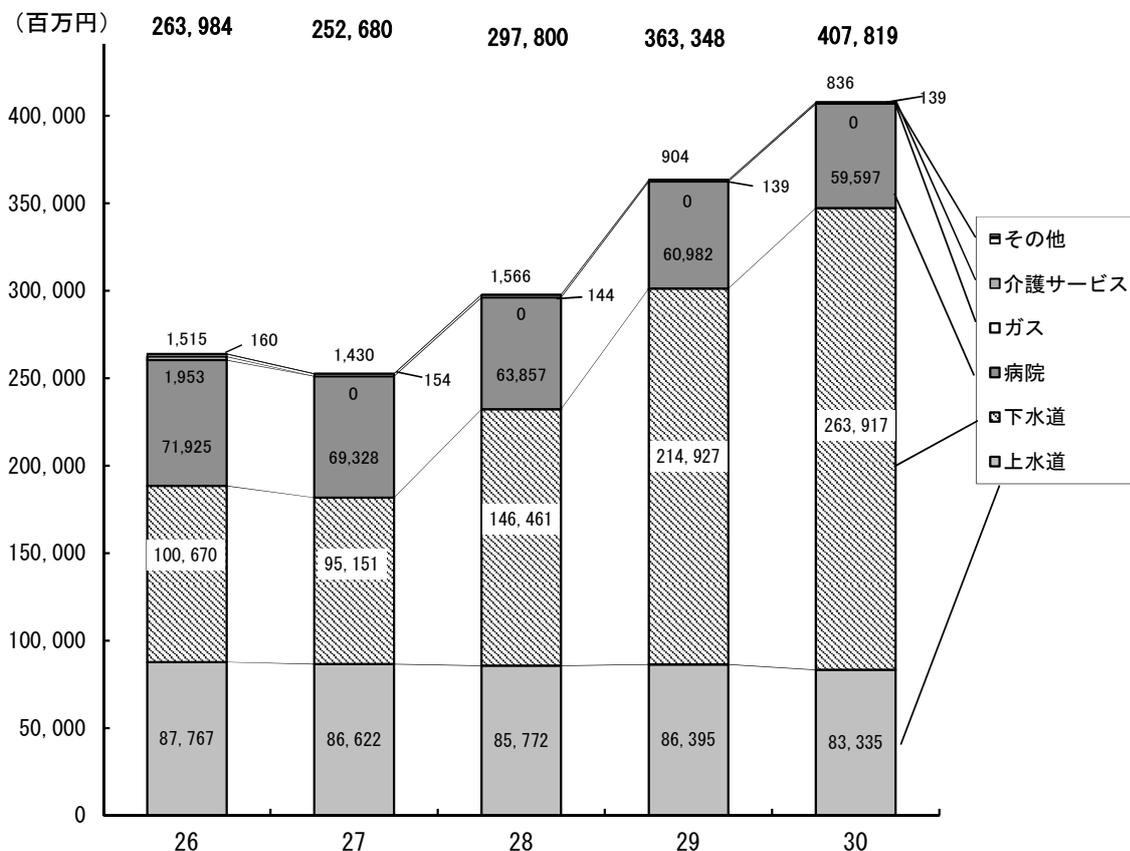
企業債現在高が大きい主な事業は、下水道が2,639億17百万円（全体の64.7%）で最も大きく、次いで上水道事業833億35百万円（同20.4%）、病院事業595億97百万円（同14.6%）となっており、これら3事業で99.8%を占めている。

第6表 事業別企業債残高の推移

（単位：千円、%）

項目	年度		対前年度比較	
	H29 (A)	H30 (B)	(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	86,395,321	83,334,523	△ 3,060,798	△ 3.5
下水道	214,926,610	263,917,220	48,990,610	22.8
病院	60,982,129	59,597,214	△ 1,384,915	△ 2.3
ガス	-	-	-	-
介護サービス	904,390	835,917	△ 68,473	△ 7.6
その他	139,117	134,107	△ 5,010	△ 3.6
計	363,347,567	407,818,981	44,471,414	12.2

第7図 事業別企業債現在高の推移



5 他会計繰入金

地方公営企業に対しては地方公営企業法等に基づき他会計からの繰入れが行われており、平成30年度繰入額は239億67百万円で、前年度（201億42百万円）に比べ38億25百万円（19.0%）増加している。

この内訳をみると、収益的収入への繰入金が158億5百万円、資本的収入への繰入金が81億62百万円となっており、前年度に比べ収益的収入への繰入れは31億円（24.4%）増加しており、資本的収入への繰入れでは7億26百万円（9.8%）増加している。

繰入額が大きい主な事業は、下水道事業で151億14百万円（全体の63.1%）で最も多く、次いで病院事業72億35百万円（同30.2%）となっている。

第 7 表 事業別他会計繰入金

(単位：千円、%)

年度 項目	H29 (A)	H30 (B)	対前年度比較	
			(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	1,230,902	1,324,897	93,995	7.6
下水道	10,932,114	15,114,035	4,181,921	38.3
病院	7,679,431	7,235,480	△ 443,951	△ 5.8
ガス	6,279	6,039	△ 240	△ 3.8
介護サービス	195,830	194,641	△ 1,189	△ 0.6
その他	97,401	92,352	△ 5,049	△ 5.2
計	20,141,957	23,967,444	3,825,487	19.0

第 8 表 収益的収入への他会計繰入金

(単位：千円、%)

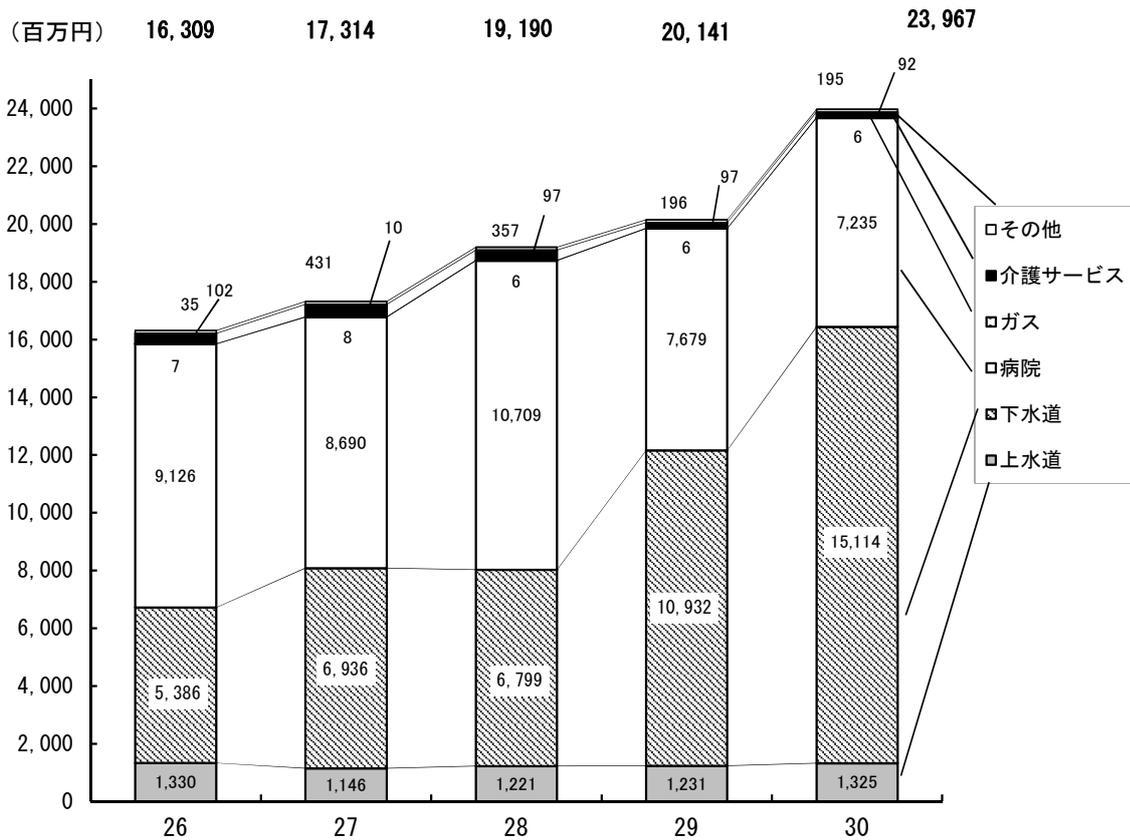
年度 項目	H29 (A)	H30 (B)	対前年度比較	
			(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	577,441	618,989	41,548	7.2
下水道	7,262,347	10,313,283	3,050,936	42.0
病院	4,610,887	4,625,695	14,808	0.3
ガス	6,279	6,039	△ 240	△ 3.8
介護サービス	150,830	148,641	△ 2,189	△ 1.5
その他	97,401	92,352	△ 5,049	△ 5.2
計	12,705,185	15,804,999	3,099,814	24.4

第 9 表 資本的収入への他会計繰入金

(単位：千円、%)

年度 項目	H29 (A)	H30 (B)	対前年度比較	
			(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	653,461	705,908	52,447	8.0
下水道	3,669,767	4,800,752	1,130,985	30.8
病院	3,068,544	2,609,785	△ 458,759	△ 15.0
ガス	-	-	-	-
介護サービス	45,000	46,000	1,000	2.2
その他	-	-	-	-
計	7,436,772	8,162,445	725,673	9.8

第8図 他会計繰入金の推移



6 累積欠損金

累積欠損金とは、営業活動によって欠損を生じた場合に、繰越利益剰余金、利益積立金、資本剰余金等により補填が出来なかった各事業年度の損失（赤字）額が累積されたものである。

平成30年度末において累積欠損金を有する事業数は12事業である。

また、累積欠損金の額は307億29百万円で、前年度（296億5百万円）に比べ11億24百万円（3.8%）減少している。

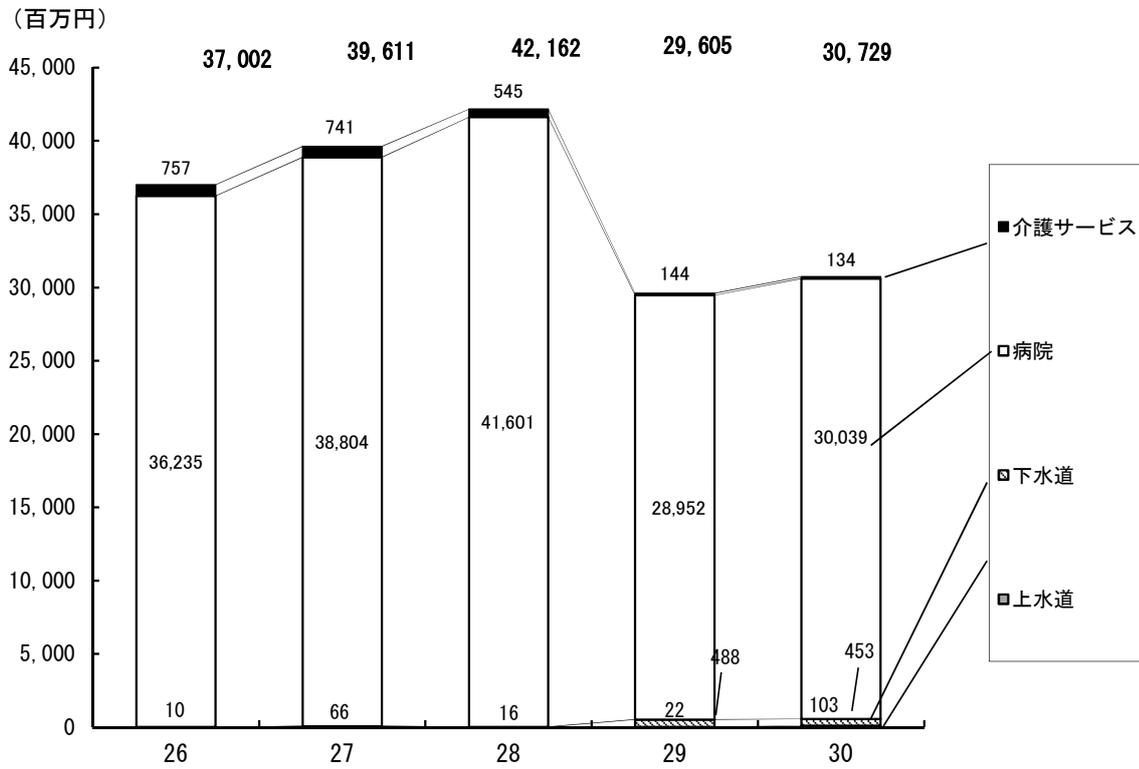
累積欠損金を有する事業の占める割合が大きい事業は、病院事業が7事業で300億39百万円（累積欠損金合計額の97.8%）を占めている。

第10表 累積欠損金の状況

(単位：千円、%)

項目	年度		対前年度比較	
	H29 (A)	H30 (B)	(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	21,831	102,667	80,836	370.3
下水道	487,915	453,139	△ 34,776	△ 7.1
病院	28,951,925	30,039,331	1,087,406	3.8
ガス	-	-	-	-
介護サービス	143,717	133,976	△ 9,741	△ 6.8
その他	-	-	-	-
計	29,605,388	30,729,113	1,123,725	3.8

第9図 累積欠損金の推移



7 不良債務

不良債務とは、貸借対照表日現在において、流動負債（建設改良の財源に充てる企業債を除く※）の額が流動資産の額（翌年度へ繰り越される支出の財源充当額を差し引いた額）を超える額である。

平成30年度末において不良債務を有する事業数は、ゼロである。